



林 声



OKAYAMA

お か や ま

No.340 . 1998 . 7 . 1



若杉天然林（西粟倉村）

目 次

美しい森づくり運動について ...	2	“樹”	6
普及最新情報	3	林研だより	7
シリーズ森林公園	4	お知らせ	8 ~ 9
普及指導最前線	5	林産物市況等	10

美しい森づくり運動について

岡山県では、広く県民の皆様
に森林の良さや大切さについて
認識を深め、県下各地域の自然
条件に適した多様な森づくりを
県民参加で推進するため、平成
五年度から「美しい森づくり運
動」を推進しています。

この運動は、県民参加による
森づくりを積極的に進め、森林
を守り育てるのが狙いであり、
その取り組み状況を交えて、運
動の概要をご紹介します。

一 運動の必要性

気候風土に恵まれた岡山県の
森林は県土の約七〇パーセントを占めて
おり、木材やきのこなどの林産
物の生産をはじめ、水を蓄え、
土砂崩れ等の災害を防ぐ働きが
あります。

また、最近では森林浴など自
然に親しむ森林レクリエーショ
ンの場の提供など、いろいろな
働きを通じて、私たちの生活に
深いかかわりを持っています。

しかし、一方では森林を維
持・管理している山村において
は、過疎化・高齢化が進んでお

り、適切な森林管理を維持する
上で少なからぬ影響が現れてい
ます。

県民の共通の財産である森林
を適切に管理するとともに、県
民の多様な要請に応えるため
は、森林の重要性について理解
を深めながら、森林所有者のみ
ならず県民全体で森林を守り育
てていくことが重要であります。

このために、「美しい森づく
り運動」を実施しています。

二 運動の推進方向

美しい森づくりの推進

「美しい森づくりの会」を結
成し、ボランティア活動の組織
化を図るとともに苗木づくりか
ら植樹までの実践活動への参加
を呼びかけ、県民運動として定
着させる。

- ・各種広報活動、イベント・講
演会等の開催、おかもまもり
の妖精コンテストを実施
- ・県下九地域に「美しい森づく
りの会」を設立・育成（現在
三二〇団体、八、八六一人が
参加）

・県民参加による「植樹のつど
い」等を開催（平成九年度末
までに一七七回、約二七千人
が参加）

・ドングリポット苗木づくり
の推進

小・中学校、老人クラブなど
のボランティア団体によりアラ
カシ、シラカシ、クヌギ、コナ
ラなどのドングリポット苗木づ
くりを進め、美しい森や山火事
跡地等に植栽（平成九年十二月
末までに三二六万個播種し八六
万本を生産）

「美しい森」の整備

森づくりの実践活動の場とし
て、各地域の自然条件に適した
「美しい森」十箇所を平成十二
年度末までに整備（別表）する
こととしており、今春、長船・
東栗倉美しい森がオープンし、
現在五箇所が整備完了

美しい森は、放牧跡地、山
火事跡地等の荒れた森林を指
定し、森づくりの場として活
用するもので、森づくりに訪
れる人々が憩い、交流し、学
び、楽しむためのビクターセ
ンター、キャンプ場、遊歩
道、バンガロー、野外音楽

堂、野鳥観察小屋、管理道、
駐車場等（箇所により整備内
容が異なる）の施設整備が完
了した時点でオープンしてお
り、本物の「美しい森」なる
のは五十年から百年先です。
皆さんの積極的な参加と利
用をお願いします。

（林政課美しい森づくり推進班）

別表 美しい森整備状況

指定年度	指定箇所	区域面積	完成時期
5	里庄町里見	30ha	8年夏オープン
"	勝山町菅谷	58ha	9年春オープン
"	久米南町下初	59ha	8年夏オープン
6	長船町磯上	53ha	10年春オープン
"	東栗倉村後山	123ha	10年春オープン
7	真備町市場	50ha	11年度末
"	高梁市松山	30ha	"
"	新見市千屋花見	30ha	"
8	和気町木倉	65ha	12年度末
"	倉敷市首原	38ha	"



これからの木質資源の利用について

一 はじめに

我が国における最近の木材消費量は年間約一億一千万立方メートルであり、需要別に見ると製材が五千万立方メートル、パルプが四千万立方メートル、合板十五千万立方メートルとなっています。

木材自給率は、昭和三十五年九〇%であったのが、平成九年には二〇%までに減少しています。

最近の木材輸入の状況を見ると、産地国での国内産業の育成、資源的制約、環境保護運動の高まり、さらには、これらを背景とする丸太輸出規制等により、丸太輸入が減少し製品の輸入が増加してきています。

一方、蓄積量を見ると、スギを主体として造林が進められた結果、平成七年度末現在で、天然林を含めて約三十五億立方メートルに達しています。このうち人工林の蓄積量は十九億立方メートルとなっており、急激に増加してき

ていますが、天然林のそれは三〇年前からほとんど増加しておらず、蓄積量の増加は、主に人工林の生長によるものと言えます。

二 国産材利用促進に向けた取り組み

木材製品の輸入量の増加は、我が国木材工業の低迷を招き、外国木材工業に格好な機会を提示しています。

こうした中、国において、国内の森林と木材工業を活性化するために、地域における生産、新しい利用技術の開発などによる国産材利用の推進を図っており、平成八年度には、「林野三法」が制定されました。

また、林産加工体制整備基本方針委員会が設置され、次のとおり「木材加工技術開発目標」が設定されました。

木材加工技術開発目標

製材加工及び乾燥の効率

化とコスト低減に係わる技術の開発

付加価値向上のための高次加工技術の開発

低位利用資源を活用した

新用途・新製品の開発

建築基準の性能規定化等に
応じた木材製品の強度性能の
解明等

健康面や環境に配慮した
接着加工技術、木材保存技術
の開発

三 研究動向（木材学会研究発表から）

今年、開催された日本木材学会年次大会における研究発表を見ると、環境・資源を意識したものが多く発表されています。

例えば、合板・ボード分野では、廃材利用に関するものが多く発表されています。また、その他にも接着剤を用いない木粉成型材料の製造や古紙の利用に関するものが見受けられます。

その他の特徴としては、スギを主体とした国産材利用に関するものが、合板・ボード、木質

構造、乾燥、強度など幅広い分野で発表されています。

四 おわりに

近年、環境・資源問題が大きくなり取上げられる中で、衣・食・住に関する選択基準は、従来のコスト、性能、大量生産、嗜好から環境や資源といったものに移行してきており、今までに増して資源のライフサイクル（製造・消費・廃棄・再利用）が重要視されるようになっていきます。

従来から木材の「燃える」、「腐る」、「狂う」という欠点の矯正に取組まれてきましたが、この欠点は、環境や公害の面から見ると、「無公害廃棄」、「生分解」、「異方性」と言い換えることができ、エコマテリアルとしての木材が持つ長所と言えます。

今後、これら木材の持つ長所を生かした利用技術の発展が期待されるところです。

（林業専門技術員 大倉隆之）

シリーズ森林公園 8

森林浴の森日本一〇〇選

若杉天然林 (岡山県西粟倉村)

若杉天然林は、二五〇年の歴史を刻んだ自然の節理を今に留める、県下でも数少ないブナを中心とした広葉樹林です。

この天然林は、北を鳥取県、東を兵庫県に接する中国山地の分水嶺にあり、村の東北端に位置します。標高一〇〇〇m、面積八三ヘクタール、平均気温二〇度で、初夏は新緑の香りが林内に広がり、盛夏の清涼は肌寒ささえ感じさせ、秋の紅葉は十月下旬が最適です。燃えるような全山の紅葉は雄大で、恍惚として去ることを忘れさせてくれる森林です。

また、本山は氷ノ山後山那岐山国立公園の特別保護地区として保護されており、学術的資源の宝庫として活用されたり、昭和六一年には「森林浴一〇〇選」に選ばれ、県内はもとより関西地方から植物や野鳥の愛好家や、家族づれ、サークル活動の人達が森林浴を求めて入山しています。筆者が梅雨の合間に訪れたときは、近隣の町村や姫

路・神戸などから壮年の夫婦づれや若者がカメラを片手に散策していたり、大学院生がブナ林の研究のため訪れていました。



250年の歴史を刻んだブナ林

森林は心と身体を安らかにしてくれるオアシスです。緑に満ちあふれた森林の中で、溪流のせせらぎや小鳥のさえずりを聞き、適度の運動をしながら、きれいでおいしい空気を胸いっぱい吸い込めばあなたもきつと心身ともにリフレッシュできるでしょう。

若杉峠付近のブナ林は、植物学上、チチマザサイブナ群団に属し、ブナに混じり、天然性ス

ギやミズナラ・イタヤカエデなどの高木、ナナカマド・クロモジ・サワフタギなどの低木が見られます。

とくに低木のヒメモチ・チャボガヤ・ハイイヌガヤ、林床を覆うチシマザサやヤマソテツは雪の多い日本海側地方独特の植物です。

地形的には、渓谷沿いには背の高いサワグルミやトチノキが多く、尾根筋の近くには一部で天然スギの林が見られるなど環境にあわせて変化のある森林となっています。

溪流には、岡山県では吉井川水系の源流部で、水温が二〇度以下にしか生息しないイワナがみられる他、ヨダカやヤマネなどの鳥獣の生息地になっており私たちの日常の生活環境では見られない動植物を観察することができます。

天然林の中には、中国自然歩道・若杉自然研究路が緩やかな勾配で整備されており、三キロメートルコースと五キロメートルコースがあり、それぞれ二時間から三時間でゆつくり一周できます。

から五〇分。休憩所・駐車場有。

「一口メモ(妖怪ブナの生い立ち)」

雪国のブナ林を歩くと、昔話に出てくる妖怪もどきの奇妙な形のブナの木に出会うことがあります。二丁三丁の高さまで一本の太い幹なのですが、その上から急に数本の太枝に分かれ、長い首をいくつももった大蛇のような形になっているのです。

かつて、燃料が主に薪や炭であった時代に、雪国の里に暮らす人々は残雪期のブナ林に入り薪炭材を伐っていました。豪雪地の春は二丁三丁の締まった残雪があり、雪の上は作業が楽ですし、燻(そり)で多量の薪を出すことができるからです。伐られた所から萌芽し、成長した枝の姿が妖怪ブナの起源なのです。(勝英普及指導区Ag平山俊策)



若杉天然林の自然歩道

「交通」
中国自動車道 佐用インター

普及指導最前線

「井笠地域美しい森づくりの会の活動について」

一 はじめに

引き続き木材価格の低迷と、管内森林面積の七〇パーセントを占めるアカマツ林の松くい虫被害の増加により、森林所有者の森林管理に対する意欲が減退しつつあるなかで、水源のかん養、保健休養、風致景観の保全といった公益的な要請が高まりつつあります。

このため、森林・林業教育の推進を図り、山村と都市との交流を促進するため、平成五年度から当普及指導区で取り組んでいる「井笠地域美しい森づくりの会」の活動について紹介します。

二 活動内容

同会では、井笠地域をはじめとした一般の人々を対象に、森林の果たしている役割や重要性について認識を深め、自主的な参加を動機づけるため、「ドングリづくりから植樹までの」実践

活動」の推進を行うことを目的とした団体で、平成七年九月に結成され、管内の小中学校やコミュニティ団体など四七団体が加盟しております。

現在、同会では「植樹のつどい」の活動に最も力を入れて取り組んでおり、笠岡市、里庄町などの都市部周辺では、同会結成前の平成六年三月から「植樹のつどい」を開催しています。

また、これまでに計一四回の「植樹のつどい」を開催しており、参加者約二、四〇〇人（平成一〇年三月末現在）を数えました。

このなかには、井笠地域からの参加だけではなく、岡山市や遠くは神戸から阪神大震災でお世話になったお礼のためにと団体で駆けつけていただくなど、同会の活動に大きな励みとなりました。



また、平成八年九月にオープンした「里庄美しい森」浅口郡里庄町里見地内）では、来訪者が約一〇、〇〇〇人（平成一〇年三月末現在）となり地元里庄町をはじめ、倉敷市や福山市近郊から週末を中心にデイキャンプなどを楽しむ家族連れの姿が多く見られ、新しい野外活動の場として定着を期待しています。



三 おわりに

今後は、このような「美しい森」来訪者などを対象に、同会のPRに努めて知名度を高めるとともに、定期的に「植樹のつどい」を開催するなど、同会の活動の輪を広げて行きたいと考えています。

（井笠普及指導区Ag野口朋弘）

「植樹のつどい」開催状況

開催年月	開催場所	対象者		実施面積
平成6年3月	里庄美しい森	地元小学生等	136名	0.14ha
平成7年3月	笠岡市（山火事跡地）	一般	135名	0.20ha
" 3月	里庄美しい森	地元小学生等	200名	0.30ha
平成7年12月	鴨方町（林道法面）	地元小学生等	71名	0.12ha
平成8年3月	矢掛町（林道法面）	地元小学生等	152名	0.20ha
" 3月	矢掛町（松くい被害跡）	地元小学生等	63名	0.10ha
" 5月	笠岡市（山火事跡地）	地元小学生等	30名	0.05ha
" 9月	里庄美しい森林	森づくりの会等	600名	0.25ha
" 12月	笠岡市（松くい被害跡地）	地元小学生等	61名	0.10ha
平成9年3月	笠岡市（山火事跡地）	地元小学生等	380名	0.50ha
" 12月	笠岡市（井笠広域斎場）	森づくりの会等	93名	0.11ha
" 12月	笠岡市（井笠広域斎場）	森づくりの会等	131名	0.32ha
平成10年2月	矢掛町（治山事業施工地）	森づくりの会等	172名	0.20ha
" 3月	里庄美しい森	地元小学生等	150名	0.20ha
合計	14回		2,374名	2.79ha

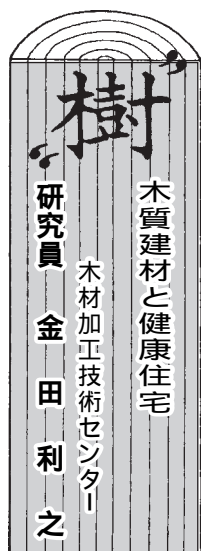
前回は、ホルムアルデヒドと健康について述べましたが、放散ホルムアルデヒドの問題は最近になって急に発生した問題ではありません。すでに昭和四十年頃から新築住宅で、「目や鼻が痛くなる」という訴えが見られ、産学あがての調査の結果、この原因が合板の製造に使用されたユリア（尿素）樹脂接着剤や、塗装に使われたアミノアルキッド樹脂であることが分かりました。そのため、材料の放散ホルムアルデヒドの測定方法が検討され、現行の日本工業規格

（JIS）や日本農林規格（JAS）ではデシケータ法が採用され、規格化されました。

ここで、デシケータ法について簡単に説明します。内容積九リットルから一リットルまでのデシケータという化学分析用ガラス器具の底に三〇〇ミリの蒸留水を入れた皿を置き、その上に試験片がそれぞれ接触しないように支持金具に固定してのせます。このデシケータを二十度の恒温器中

に二十四時間放置して、放散するホルムアルデヒドを蒸留水に吸収させます。この溶液中のホルムアルデヒド濃度を分光光度計などを使って測定するわけです。

JISやJASではこの方法により放散するホルムアルデヒドの量を測定し、等級化が行われています。例えば、合板（JAS）ではF1（〇・五ミリグラム以下）、F2（五ミリグラム以下）



下）、F3（一〇ミリグラム以下）
下）、パーティクルボード（JIS）ではE0（〇・五ミリグラム以下）、E1（一・五ミリグラム以下）、E2（五ミリグラム以下）となつています。

その後、JISやJASで等級化された放散ホルムアルデヒド量の少ない材料の普及によって、内装材や家具からの放散ホルムアルデヒドの問題は一応解決したように思われましたが、

最近の住宅の「高気密・高断熱化」などにより再びこの問題が大きく取り上げられるようになってきました。

それでは、木質建材、特に木質接着製品からどのようにホルムアルデヒドが放散されるのでしょうか。主として合板やパーティクルボードについてですが、これらの製品からのホルムアルデヒドの放散は、接着剤中あるいは硬化過程で発生した遊離ホルムアルデヒドが硬化接着剤中あるいは木材中に存在し、これが気中に放散される場合、接着剤の硬化が不十分で残存するメチロール基あるいはメチレンエーテル基が分解する場合、完全に硬化した樹脂の加水分解による場合に起こると考えられています。の場合は一過性の放散ですが、の硬化樹脂の加水分解による放散は恒常的につづき、温度や水分が影響し、硬化剤として加えた酸あるいは木質の酸度によって加速されます。

林研だより

「大佐町婦人林研やまびこ会」

会長 金田敬子

大佐町は、岡山県の北部に位置し鳥取県と境を接しており、林野率八九％、人工率六八％で農林業の盛んな山村です。

平成四年一月に結成された大佐町婦人林研やまびこ会は、現在会員数が二四名、金田会長を中心に活発な活動を続けている婦人林研グループです。

平成九年度の活動状況について紹介します。

(一) 木工教室の開催

大佐町主催のふるさと祭りにおいて、やまびこ会は小学生を対象に木工教室を開催しました。

平成九年度は、八五名の参加があり、終日子供達に助言や指導を行っていました。



木工教室

(二) 優良林地研修の実施

会員の優れた山を訪問し、技術的な問題点や良い点等話し合い、相互に研鑽を積み技術を磨いています。

(三) 林業教室の実施

平成九年度は、「しいたけ植菌体験学習」と「炭やき体験学習」を町内の小学生を対象に実施しました。

大佐町役場の協力のもとに三

五名が参加し、楽しみながら作業をしていました。山どころとはいえ、参加した小学生は経験のない人が大半ですが、このような体験教室を通じ、必ず森林林業への理解をしていただけるものと確信します。



炭やき体験学習

(四) 先進地視察の実施

一年に一回、県外へ先進地視察に出かけています。平成九年度は大阪府高槻市森林組合に出かけ、しいたけ栽培施設や栽培方法、木工品の制作過程を研修し見聞を深めるとともに、会員の親睦に努めました。

(五) 各行事への積極的な参加

阿新地方振興局が実施している阿新地区林研グループ交換研修大会には毎年多くの会員が参加し、現地研修や講演の聴講さらには討議に加わり、自己を高めるとともに、グループの枠を越え他グループとも交流を図っています。

また、阿新地域農山村振興協議会の主催による優良丸太共進会についても多くの会員が当日の競り売り等を見学し、どのような材が高価に取引されているかなど研究に余念がありません。特に、会員は優良林を持っていく人が多く、平成九年の共進会においても優良丸太を出品された会員の一人が一等賞（阿新地方振興局長賞）を受賞されやまびこ会の名声を大いに高めました。

会としての活動年数は長くありませんが、会長はじめ会員は意欲的に活動されており、今後の更なるやまびこ会の活躍が期待されます。

(阿新普及指導区 Ag 近藤和夫)

お知らせ

第四回「おかやま もりの妖精」募集について

当協会では、岡山県の進めている「美しい森づくり」運動を推進し、森林・林業のPRを行うため、「おかやま もりの妖精」を募集しています。

この「もりの妖精」は平成七年度から活動を開始しており、現在は三代目の「妖精」たちが活躍していますが、その活動期間が今年の九月末で終了となります。このため、十月から来年の九月までの一年間活動していただく四代目の「もりの妖精」を募集するものです。

森林は、木材を生産するばかりでなく、水源のかん養、土砂災害の防止、保健休養の場としてなど、私たちの生活に深い関係があり、重要な役割を果たしています。「もりの妖精」の募集、活動を通じて一人でも多くの方が、森林・林業に関心を持ち、その重要性を理解していた

だければと願っています。

募集内容は、次のとおりです。

- 一 募集人員 三名
- 二 募集期限

平成十年八月十四日(金)

「当日消印有効」

三 応募資格

- ・ 県内に在住されている十八歳以上の未婚の女性(ただし、現在、他の同様なキャンペーンガールとなっている方を除く。)
- ・ 各種行事に参加可能な方

四 応募書類

- ・ 履歴書(募集用チラシの裏面、又は市販のものでも良い。)
- ・ 写真(最近六ヶ月以内に撮影した全身写真)

五 応募方法

応募書類を岡山県林業改良普及協会支部(各地方振興局

六 選考

森林課)まで提出
八月下旬に一次選考(書類審査)を実施し、二次選考(面接選考会)を九月上旬に実施します。

七 お問い合わせ先

- ・ 岡山県庁林政課内
- ・ 岡山県林業改良普及協会
- 「おかやま もりの妖精」募集係

☎(〇八六)二二四二二一一
内線三三〇四

- ・ 各地方振興局森林課内
- 岡山県林業改良普及協会 各支部



昨年の選考会

「県立森林公園」自然観察会の

開催と参加者募集について

奥津町と上斎原村に広がる県立森林公園で、この公園の良さを広くみなさんに知っていただくため、(社)岡山県林業公社の主催により野鳥や植物などに詳しい講師を招き、次のとおり自然観察会が実施されます。

この観察会は、平成元年度から毎年夏・秋の二回行われており今年で十年になります。

また、当日は岡山・倉敷・津山から、臨時バス(有料)も運行されます。

一 日 時

平成十年七月二十四日(金曜日)《当日雨天でも実施します。》

二 募集人員 一五〇人

(申込者多数の場合は先着順)

三 参加費 無 料

(但し、交通費は各自負担、食事は持参とします。)

四 集合場所及び時間

県立森林公園管理センター前
午前一〇時五〇分
(現地集合、現地解散)

五 観察コース

(一)「ぶなの平」コース

所要時間約二時間三〇分

(二)「展望台」コース

所要時間約一時間五〇分

(三)「千軒平」コース

所要時間約三時間

六 申込方法

参加申込の方法は、往復八ガキに 住所、氏名、電話番号、交通手段(臨時バス利用「乗車地：岡山・倉敷・津山の別」、自家用車利用の別)、参加者数を記入のうえ、(社)岡山県林業公社まで送付してください。

七 締 切

締切は七月十七日(必着)

バス利用の申込者数に合せて当日臨時便を出すようバス会社に依頼します。

八 申込み、問合せ先

〒七〇八 八五〇六
津山市山下五三
(社)岡山県林業公社営林課
TEL〇八六八 二三三 二三一一
(内線三九〇)三九二



林産物市況

製材 (6月中旬)

杉正角 3m			桧正角 3m			桧長柱 6m		
寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)
6.0	一等	25 - 30	6.0	一等	40 - 42	10.5	特等	95 - 100
7.5	一等	20 - 22	7.5	一等	33 - 35	12.0	特等	110 - 115
9.0	上一	16 - 18	9.0	上一	18 - 20	"	上小	120 - 130
"	一等	20 - 22	"	一等	27 - 30	13.5	特等	90 - 95
10.5	一等	30 - 35	10.5	一等	55 - 60	"	上小	100 - 120
"	特等	35 - 40	"	特等	65 - 70	ラ ス 板		
"	上小	55 - 60	"	上小	110 - 150	2m 1.2× 9.0		20 - 24
"	無節	70 - 90	"	無節	180 - 200	3m 1.2× 9.0		20 - 24
12.0	特等	30 - 37	12.0	特等	70 - 75	2m 1.5×10.5		25 - 30
"	上小	45 - 50	"	上小	110 - 150	2m 0.9×24.0		60 - 65
"	無節	60 - 70	"	無節	180 - 200	2m 1.5×21.0		33 - 35
長 サ 4m			長 サ 4m			造 作 材		
6.0	一等	30 - 35	6.0	一等	43 - 45	杉4m 3.0× 3.0	無節	(本) 6 - 8
9.0	上一	20 - 21	9.0	上一	27 - 30	杉4m 4.0× 4.5	無節	(本) 12 - 20
"	一等	28 - 30	"	一等	45 - 48	杉4m 4.5×10.5	無節	180 - 200
10.5	特等	35 - 40	10.5	特等	70 - 75	桧4m 4.5×10.5	上小	150 - 200
12.0	特等	35 - 40	12.0	特等	70 - 75	桧4m 4.5×10.5	無節	250 - 300

木 材 (6月中旬)

長さ	径 (cm)	杉 (千円)	桧 (千円)	松 (千円)
3m	7 - 10	9	16	-
	11 - 13	11	16	-
	14 - 16	17	38	-
	18上	21	40	10
4m	7 - 10	10	17	-
	11 - 13	10	18	-
	14 - 16	16	35	-
	18上	15	35	13
6m	14 - 16	-	64	-
	18 - 20	-	53	-

乾しいたけ (6月中旬)

名柄別	価格kg当り (百円)	
	安 値	高 値
香 信 大 葉	36	72
" 中 葉	30	62
" 小 葉	23	48
バ レ 大 葉	16	52
" 中 葉	16	49
ス ラ イ ス	13	48
香 茹	47	88
上 冬 茹	-	-
並 "	43	78
並 並 "	26	60
小 玉 "	13	57
格 外 品	4	37

編集後記

梅雨の真っ直中、蒸し暑い日が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。雨が降り、梅雨末期の集中豪雨が発生しやすい時期になりますので、土砂災害等には十分注意しましょう。今年も「もりの妖精」を募集します。皆さんのお近くに素敵な方はおられませんでしょうか。もし、おられましたら是非とも募集内容をご紹介ください。九月の発行予定です。

(A)